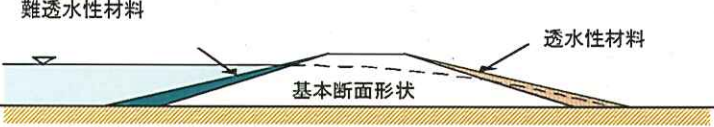
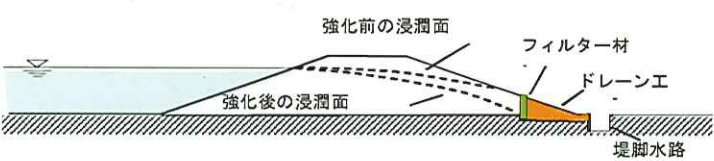
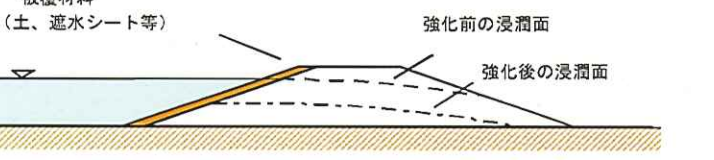
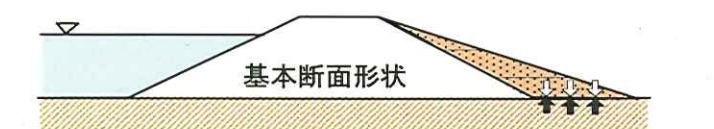
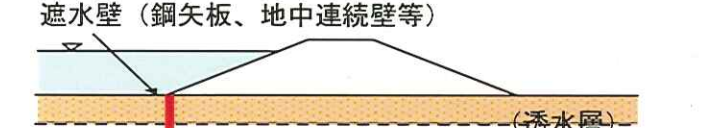
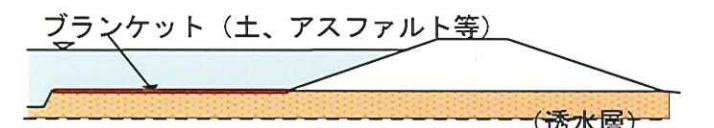


浸透対策工法の事例

 <p>難透水性材料</p> <p>透水性材料</p> <p>基本断面形状</p>	<p>断面拡大工法（腹付け）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 浸透経路長の延長を図り、動水勾配を減じる ・ 緩勾配化によりすべり安定性を向上
 <p>強化前の浸潤面</p> <p>フィルター材</p> <p>強化後の浸潤面</p> <p>ドレーン工</p> <p>堤脚水路</p>	<p>ドレーン工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 川裏のり尻を透水性の高い材料に置換え、フィルター材により堤体内の土粒子の流出を抑制しつつ、堤体内の浸潤面を低下させる ・ 浸潤面上昇を抑え、堤体せん断力低下抑制 ・ のり尻部をせん断強度の大きいドレーン材に置換え、すべり安定性を向上
 <p>被覆材料 (土、遮水シート等)</p> <p>強化前の浸潤面</p> <p>強化後の浸潤面</p>	<p>表のり面被覆工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 表のり面を難透水性材料（土質材料または人工材料）で被覆することにより、河川水の堤体への浸透および天端からの降雨浸透を抑え、堤体せん断力の低下を抑制
 <p>基本断面形状</p>	<p>断面拡大工法（押え盛土）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 浸透経路長を増加させること、及び川裏側のり尻近傍の基礎地盤からの浸透圧に対して、上から載荷することにより抵抗
 <p>遮水壁（鋼矢板、地中連続壁等）</p> <p>(透水層)</p>	<p>川表遮水工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 川表のり尻に止水矢板等の遮水壁を設置し基礎地盤への浸透水量や水圧を低減
 <p>ブランケット（土、アスファルト等）</p> <p>(透水層)</p>	<p>ブランケット工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高水敷を難透水性材料（主として土質材料）で被覆し、浸透経路長を延伸させ裏のり尻周辺の浸透圧を低減

